

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[13]ジメチル=4,4'-(<i>o</i>-フェニレン)ビス(3-チオアロファナート)(別名:チオファネートメチル)</p>	<p>【水質】</p> <pre> graph TD A["水質試料 (アスコルビン酸10mg/L) 100mL 10%EDTA 5mL"] --> B["固相抽出 Oasis HLB 10mL/分"] B --> C["洗浄 精製水 10mL"] C --> D["脱水 窒素バース注1"] D --> E["溶出 アスコルビン酸 2mg メタノール 5mL 1時間~1晩静置"] E --> F["LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ"] </pre> <p><注>次に示す方法を採用した例もあった。 1:脱水を窒素バースではなく遠心分離(3000rpm、5分間)で行った。また、測定機器としてLCはAgilent 1100、MSはAPI4000 Q TRAP、カラムはAtlantis T3(150mm×2mm、5μm)を使用した。</p> <p style="text-align: right;">「平成18年度化学物質分析法開発調査報告書」 準拠</p>	<p><分析原理> LC/MS/MS-SRM-ESI-ポジティブ</p> <p><検出下限値> 【水質】(ng/L) [13] 0.79</p> <p><分析条件> 機器 LC : Alliance 2695^{注1} MS : Quattro micro^{注1} カラム Cadenza CD-C18^{注1} 150mm×2mm、3μm^{注1}</p>